

# 平成 30 年度静岡県交通基盤部・経済産業部

## 優良業務委託表彰式

日時 平成 30 年 10 月 26 日(金)午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場所 クリエイト浜松 2 階ホール

主催 土木事務所等、農林事務所

## 次 第

### 【第一部】

#### 静岡県交通基盤部・経済産業部優良業務委託表彰式(13:30～14:15)

- 1 理事挨拶 静岡県交通基盤部 理事 長繩 知行
- 2 主催者代表挨拶 静岡県浜松土木事務所 所長 古梶 隆宏
- 3 来賓祝辞 (一社)静岡県地質調査業協会 会長 松浦 好樹 氏
- 4 表彰状授与 測量・用地調査等業務部門 (2 件)  
地質・土質調査業務部門 (1 件)  
設計業務部門 (10 件)  
調査・点検等業務部門 (2 件)  
農業農村整備等業務部門 (3 件)
- 5 受賞者代表挨拶 (株)建設コンサルタントセンター 代表取締役 小田 秀昭 氏

----- 休 憩 15 分 -----

### 【第二部】技術講習会(14:30～16:30)

14:30～15:20	講演「建設現場における生産性向上に向けて ～3次元データと ICT(情報通信技術)の活用～」 (株)正治組 大矢 洋平 氏
15:20～15:40	講演:「業務委託における ICT 活用について」 交通基盤部建設支援局建設技術企画課 芹澤 啓
15:40～15:50	休憩
15:50～16:10	優良業務事例発表①「松崎港維持浚渫に伴う深淺測量業務委託」 (株)ウインディーネットワーク
16:10～16:30	優良業務事例発表②「太田川河川改修事業和口橋詳細設計業務委託」 (株)オリエンタルコンサルタンツ

第二部の「技術講習会」は、全国測量設計業協会連合会、農業農村工学会 CPD 及び全国土木施工管理技士連合会 CPDS の認定学習プログラムです。講習会終了後、希望者には受講証明書を発行しますので受付へ「引き換え券※」をお渡しください。県職員の農業農村工学会 CPD 登録者については、事務局で手続きを行いますので、受講証明書は不要です。

※「引き換え券」の「会社名、氏名、電話番号」欄へ事前に記入した上で提出願います。

平成30年度 静岡県交通基盤部等優良業務委託表彰一覧表

事務所別

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受注者名
1	測量・用地調査等業務	下田土木	平成29年度松崎港県単独維持浚渫(緊急)に伴う深淺測量業務委託	賀茂郡松崎町港内	(株)ウインディーネットワーク
2	設計業務	下田土木	平成28年度二級河川那賀川水系河川調査に伴う河川整備計画策定業務委託	賀茂郡松崎町松崎	日本工営(株) 静岡事務所
3	調査・点検等業務	熱海土木	平成29年度(国)135号他防災・安全交付金(トンネル点検)赤根トンネル他定期点検業務委託	熱海市上多賀	パシフィックコンサルタンツ(株) 静岡事務所
4	設計業務	沼津土木	平成28年度一級河川沼川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(県道交差部上流部詳細設計)	沼津市今沢	(株)建設技術研究所 静岡事務所
5	設計業務	富士土木	平成28年度(一)富士清水線防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う設計業務委託(大野橋補修設計)	富士市大野新田	パシフィックコンサルタンツ(株) 静岡事務所
6	設計業務	島田土木	平成29年度二級河川瀬戸川河川改良工事に伴う測量・設計業務委託	焼津市保福島	不二総合コンサルタント(株)
7	設計業務	島田土木	平成28年度二級河川萩間川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う洪水浸水想定区域図作成業務委託	牧之原市大江	(株)ニュージェック 静岡事務所
8	地質・土質調査業務	袋井土木	平成29年度新田川支川大坂沢通常砂防【防災・安全交付金】(重点)に伴う地質調査業務委託	掛川市大坂	土屋産業(株)
9	設計業務	袋井土木	平成28年度二級河川太田川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(和口橋詳細設計)	磐田市和口	(株)オリエンタルコンサルタンツ 静岡事務所
10	設計業務	袋井土木	平成29年度二級河川弁財天川 河川改良に伴う設計業務委託(堤防耐震性能再調査)	掛川市西大淵	(株)東京建設コンサルタント 静岡事務所
11	設計業務	袋井土木	平成28年度福田漁港 漁港施設機能強化(4種外郭)に伴う導流堤耐震・耐津波設計業務委託	磐田市豊浜	中央コンサルタンツ(株) 静岡事務所
12	設計業務	浜松土木	平成29年度(国)301号道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(西浜名橋予備設計)	湖西市新居町新居	中日本建設コンサルタント(株) 静岡事務所
13	調査・点検等業務	浜松土木	平成29年度浜松篠原海岸海岸養浜事業に係る環境影響調査業務委託(モニタリング調査その2)	浜松市南区中田島町	(株)長大 静岡事務所
14	設計業務	清水港管理局	平成28年度清水港社会資本整備総合交付金 活力創出基盤 効果促進事業に伴う日の出埠頭再開発に係る基礎調査・基本設計業務委託	静岡市清水区日の出町	セントラルコンサルタント(株) 静岡営業所
15	測量・用地調査等業務	御前崎港管理	平成29年度御前崎港社会資本整備総合交付金【広域連携事業・愛知静岡(重要)】に伴う測量業務委託(マリンパーク飛砂対策モニタリング)	御前崎市港	(株)建設コンサルタントセンター
16	農業農村整備等業務	富士農林	平成29年度ため池等整備(河川応急)沼田新田地区測量設計委託その1	富士市沼田新田	三洋テクノマリン(株) 静岡営業所
17	農業農村整備等業務	中部農林	平成28年度畑地帯総合整備(担い手育成)矢部2期地区調査委託その1	静岡市清水区北矢部	国土防災技術(株) 静岡支店
18	農業農村整備等業務	西部農林	平成29年度土地改良施設耐震対策庄内水路橋地区設計委託その1	浜松市西区和地町	NTCコンサルタンツ(株) 静岡営業所

平成30年度 静岡県交通基盤部等優良業務委託表彰一覧表 部門別

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受注者名
1	測量・用地調査等業務	下田土木	平成29年度松崎港県単独維持浚渫(緊急)に伴う深淺測量業務委託	賀茂郡松崎町港内	(株)ウインディーネットワーク
2	測量・用地調査等業務	御前崎港管理	平成29年度御前崎港社会資本整備総合交付金【広域連携事業・愛知静岡(重要)】に伴う測量業務委託(マリンパーク飛砂対策モニタリング)	御前崎市港	(株)建設コンサルタントセンター
3	地質・土質調査業務	袋井土木	平成29年度新田川支川大坂沢通常砂防【防災・安全交付金】(重点)に伴う地質調査業務委託	掛川市大坂	土屋産業(株)
4	設計業務	下田土木	平成28年度二級河川那賀川水系河川調査に伴う河川整備計画策定業務委託	賀茂郡松崎町松崎	日本工営(株) 静岡事務所
5	設計業務	沼津土木	平成28年度一級河川沼川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(県道交差部上流部詳細設計)	沼津市今沢	(株)建設技術研究所 静岡事務所
6	設計業務	富士土木	平成28年度(一)富士清水線防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う設計業務委託(大野橋補修設計)	富士市大野新田	パシフィックコンサルタンツ(株) 静岡事務所
7	設計業務	島田土木	平成29年度二級河川瀬戸川河川改良工事に伴う測量・設計業務委託	焼津市保福島	不二総合コンサルタント(株)
8	設計業務	島田土木	平成28年度二級河川萩間川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う洪水浸水想定区域図作成業務委託	牧之原市大江	(株)ニュージェック 静岡事務所
9	設計業務	袋井土木	平成28年度二級河川太田川広域河川改修事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(和口橋詳細設計)	磐田市和口	(株)オリエンタルコンサルタンツ 静岡事務所
10	設計業務	袋井土木	平成29年度二級河川弁財天川 河川改良に伴う設計業務委託(堤防耐震性能再調査)	掛川市西大淵	(株)東京建設コンサルタント 静岡事務所
11	設計業務	袋井土木	平成28年度福田漁港 漁港施設機能強化(4種外郭)に伴う導流堤耐震・耐津波設計業務委託	磐田市豊浜	中央コンサルタンツ(株) 静岡事務所
12	設計業務	浜松土木	平成29年度(国)301号道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(西浜名橋予備設計)	湖西市新居町新居	中日本建設コンサルタント(株) 静岡事務所
13	設計業務	清水港管理局	平成28年度清水港社会資本整備総合交付金 活力創出基盤 効果促進事業に伴う日の出埠頭再開発に係る基礎調査・基本設計業務委託	静岡市清水区日の出町	セントラルコンサルタント(株) 静岡営業所
14	調査・点検等業務	熱海土木	平成29年度(国)135号他防災・安全交付金(トンネル点検)赤根トンネル他定期点検業務委託	熱海市上多賀	パシフィックコンサルタンツ(株) 静岡事務所
15	調査・点検等業務	浜松土木	平成29年度浜松篠原海岸海岸養浜事業に係る環境影響調査業務委託(モニタリング調査その2)	浜松市南区中田島町	(株)長大 静岡事務所
16	農業農村整備等業務	富士農林	平成29年度ため池等整備(河川応急)沼田新田地区測量設計委託その1	富士市沼田新田	三洋テクノマリン(株) 静岡営業所
17	農業農村整備等業務	中部農林	平成28年度畑地帯総合整備(担い手育成)矢部2期地区調査委託その1	静岡市清水区北矢部	国土防災技術(株) 静岡支店
18	農業農村整備等業務	西部農林	平成29年度土地改良施設耐震対策庄内水路橋地区設計委託その1	浜松市西区和地町	NTCコンサルタンツ(株) 静岡営業所

## 受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度[29-W9321-01 号]松崎港 県単独維持浚渫（緊急）に伴う深浅測量業務委託（13-02）
履 行 期 間	平成 29 年 11 月 28 日 ～ 平成 30 年 3 月 19 日
業 務 概 要	深浅測量 3 箇所（L=5.1 k m、L=2.53 k m、L=16 k m） 基準点測量 N=64 点
受 注 者 名	株式会社 ウィンディーネットワーク
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <p>本業務は、松崎港の港内及び港外を利用する船舶の安全を確保するために、水深を調査する業務である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規定水深が確保されていない箇所を把握し、浚渫工事を行うための測量</li> <li>・港湾区域の海底面の地形を調査するための測量</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より精度の高い成果を得るために、業者独自で潮位観測を密に行い、観測した複数のデータを、副振動や波浪等による影響を計算処理し、曲線データとして整理することで、潮位高誤差を限りなく小さくした。</li> <li>・新技術であるマルチビーム測深機（多数の音波を放射し、海底を立体的に捉える測量）を用いた測量を自主的に行った。今回の業務は測量範囲が広く、設計内容であったシングルビームによる測量では、測線が増え、多大な作業時間を要するところを、マルチビームによる測量を行うことで作業効率が大幅に向上し、かつ海底面を立体的に捉えることで質の高い優れた成果品を完成させた。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水深が浅く、調査船による測量が困難な箇所について、満潮時に作業を行えるよう地元関係者と調整を行い、1 日の調査時間が限られる中、短期間で調査を行った。</li> <li>・冬季の作業で強風や荒波など厳しい海象条件の日が多い中、マルチビーム測深機を用いた測量により、短期間で精度の高い測量結果を得られた。</li> <li>・従来技術のシングルビーム測深機による測量では確認が困難な局所的に隆起した岩礁を発見するなど、海底状況を正確に測量した。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度[28-K1503-01 号]二級河川那賀川水系河川調査に伴う河川整備計画策定業務委託 (13-01)
履 行 期 間	平成 28 年 7 月 30 日 ～ 平成 29 年 9 月 29 日
業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備計画案の策定検討 N=1 式 (治水計画規模、整備計画メニュー、概算事業費算出、費用対効果)</li> <li>・川のり生育環境及び状況調査 N=1 式</li> </ul>
受 注 者 名	<small>にほんこうえい</small> 日本工営 株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b>          本業務は、二級河川那賀川水系における河川整備計画案作成に関する各種検討のうち、「治水計画規模検討」、「整備対象区間及び整備メニューの検討」、「川のり育成環境調査」等を実施した。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b>          受注者は、発注者側からの提供資料の他に松崎町役場等への自主的なヒアリングや地元図書館での文献調査等による念入りな資料収集により、流域における過去の水害史など河川整備計画案検討に資する十分な基礎資料を収集した。          上述の各種資料や河川の形状等を示した那賀川・岩科川流域地域の下流部に人家が密集している特性や谷底平野で流下型の氾濫形態を有することを分かり易く示した地図を作成するなど、質の高い優れた成果品を完成させた。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b>          流域土地利用、現況流下能力、氾濫形態、浸水実績、地元要望、実現可能性等の観点を記述した概要版を作成し、業務打合せ時には参加者全員が容易に全体像と重要箇所を把握できるよう工夫するなど事業の遂行に貢献した。</p>

## 受賞業務委託の概要

熱海土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 29- I 6401-01 号] (国) 1 3 5 号他防災・安全交付金(トンネル点検)赤根トンネル他定期点検業務委託 (13-01)
履 行 期 間	平成 29 年 9 月 27 日 ～ 平成 30 年 3 月 23 日
業 務 概 要	道路トンネル定期点検 4 トンネル 汐見洞トンネル補修設計 1 式
受 注 者 名	パシフィックコンサルタンツ 株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <p>「静岡県道路トンネル点検要領」改訂版に基づき、熱海土木事務所が管理するトンネルについて近接目視、打音などの定期点検を行い、トンネルの損傷及び変状結果から健全度の評価を行った。</p> <p>汐見洞トンネルでは、トンネル健全度評価の結果を踏まえ、トンネル本体工の補修計画の策定を行った。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <p>メールのグループ登録を利用した連絡手段を受注者主導で構築し、担当者不在時の対応や関係者間での質疑・応答等の速やかな情報共有に努め、迅速かつ確実に業務を履行した。</p> <p>トンネル変状展開図に、写真や健全度ランクごとに色分けした点検結果表を貼付け、変状の場所や緊急度が視覚的に解り易い質の高い優れた成果品を完成させた。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <p>汐見洞トンネルは、土被りが浅い特殊なトンネルで、点検時に外力性のひび割れが確認された。このひび割れの補修計画の策定にあたり、自主的にトンネル横断面の変状計測を行う等、複雑な外力性のひび割れの原因を特定するための分析・整理に優れ、トンネルの特殊性を踏まえた適切な補修計画を提案した。</p>

## 受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度 [第28-K2000-01号] 一級河川沼川 広域河川改修事業 (防災・安全交付金) に伴う設計業務委託 (県道交差部上流部詳細設計) (13-01)
履 行 期 間	平成28年7月14日 ~ 平成29年9月29日
業 務 概 要	県道交差部上流部詳細設計 L=200m 函体構造設計 N=1式 函体耐震設計 N=1式
受 注 者 名	株式会社 <small>けんせつぎじゆつけんきゆうじよ</small> 建設技術研究所 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沼川新放水路の県道富士清水線交差部～JR 東海道本線区間を対象とした詳細設計であり、過年度検討・設計内容を踏まえるとともに、放水路函体構造の安全性・耐震性の確保、他工区との調整に留意し、円滑な施工を進める上での施工計画及び、仮設計画を立案した。</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該設計対象構造物は、適用する基準が明確でない大規模な断面の河川構造物であるため、関連する各種設計基準を社内検討会を行ったうえで積極的に提案し、使用材用、許容応力度、構造解析、構造細目を対象に基準類の記載内容を整理した。また、道路事例の断面規模となることから、隅角部の応力照査を行い、必要な補強緒元を検討した。このような複雑多岐にわたる情報を集約したうえで詳細設計を行い、優れた成果物を完成させた。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該設計区間は、別途、函体上部の土地利用計画、既存埋没物の移設・復旧計画等を進めているなかで、それらの事業進捗に留意しつつ、これまでに実施された測量業務委託、設計業務委託(放流口部検討、防潮ゲート部ほか検討、県道交差部検討、箱型管渠検討、JR 交差部検討、開口部すり付け検討、水理検討(国道1号下流部))等の検討結果と整合を図る必要があった。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

富士土木事務所

部 門	設計業務部門
業務委託名	平成 28 年度【28-D7203-02】(一) 富士清水線 防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う設計業務委託(大野橋補修設計)(13-01)
履行期間	平成 29 年 3 月 2 日 ~ 平成 29 年 9 月 29 日
業務概要	橋梁補修設計 n=1 橋 L=29.8m
受注者名	パシフィックコンサルタンツ 株式会社 静岡事務所
受賞理由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>架橋年次 1957 年(昭和 32 年) 橋長 L=29.8m 基本幅員 10.6m~11.5m 上部工 単純非合成鈹桁 下部工 不明 斜角 左 33 度 交差物件 JR 東海道本線(富士保線区)</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注者は、当該橋梁の特性を正確に把握した上で、業務の課題となる橋台変状等について、図化に依り視覚的に分かり易く整理した。又、異常の要因が不明であり、損傷の進展の確認もできないことから、新たに発見した胸壁部のズレ等も考慮し、あらゆる可能性を踏まえて検討した結果、緊急性はないと判断し、具体的な評価の提案を行った。</li> <li>鋼部材の腐食対策について、主桁下フランジの減厚量の計測結果データに加え、現地調査及び橋梁点検業者への聞き取り等も実施し、構造物の部分毎に腐食割合を詳細に明示した。これに依り実情にあった部分毎の耐荷性能照査が可能となり、有効な補強工法が提案された。</li> <li>補修方針について、過年度資料や点検結果と対比させて分かり易い報告書を作成した。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該橋梁は、上記の通り、JR 東海道本線の跨線橋であり、JR 東海との協議を並行して行う中、「経済性」のみならず、足場や塗装条件など制約の多い条件下での「施工性」を比較検討し、総合的に最適となる実現可能な施工方法の提案があり、事業遂行へ大きく貢献した。</li> </ul> <p>例 1 : 主桁下フランジの減厚による剛性低下を補完する工法について、比較的施工が容易な近傍部分に補強材を設置する工法検討を行った。</p> <p>例 2 : 鋼部材の塗装劣化に対して、素地調整に伴うケレンかす発生を極力抑えることや作業時間の短縮化に留意が必要となるため、鍍転換型防食工法を採用した。</p>



## 受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 29-K3062-01 号] 二級河川瀬戸川 河川改良工事に伴う測量・設計業務委託 (13-01)
履 行 期 間	平成 29 年 8 月 29 日 ~ 平成 30 年 3 月 16 日
業 務 概 要	堤防漏水対策詳細設計 105m 地下浸透流解析 1 断面 縦横断測量 160m
受 注 者 名	ふじそうごう 不二総合コンサルタント 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 9 月 (台風 18 号) の豪雨により、河川が増水し、堤内地の堤防のり尻に漏水が発生した。堤防の漏水対策を目的として、浸透流解析により現況の流れを把握したうえで、護岸設計を行った。</li> </ul> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地踏査では、周辺状況の把握を行うことは基より、業者独自で漏水発生状況を近隣地権者へ丹念に聞き取りを行い、写真の提供を受けるなど、情報収集にも力を入れ、漏水の事象を十分に把握し、その結果を踏まえた浸透流解析を行い、漏水発生メカニズムを分かりやすい資料として取りまとめた。</li> </ul> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細設計において、概略調査時よりも地質調査の結果から対象基盤層の透水性がより高いことが判明し、概略設計時の工法では対策できないことが判明した。そこで、自主的に多数の対策工法を検討、提案し、パイピング、盤膨れ、円弧すべりの比較分析を進めて最適工法の再選定 (表法：大型ブロック張構造、裏法：断面拡大&amp;かご工法) を行った。</li> <li>説明資料は、漏水メカニズムや対策工法の概要図など、わかりやすい資料であり、地元の理解促進や協力に寄与するもので、事業進捗に大きく貢献した。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度 [第 28-K2023-01 号] 二級河川萩間川 広域河川改修事業（防災・安全交付金）に伴う洪水浸水想定区域図作成業務委託（13-01）
履 行 期 間	平成 29 年 1 月 21 日 ～ 平成 30 年 1 月 31 日
業 務 概 要	洪水浸水区域図作成 1 式 流出モデルの検討、浸水解析、洪水家屋倒壊危険ゾーンの作成、既往浸水想定区域との比較検討、その他外力による洪水浸水区域・浸水深の設定、浸水想定区域図の作成、データの保管・提供
受 注 者 名	株式会社 ニュージェック 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <p>本業務は、「浸水想定区域図作成マニュアル（第 4 版）」に基づき、河川管理者が想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等の情報を提供するため、二級河川萩間川の浸水解析を実施し、浸水想定区域及び家屋倒壊危険ゾーン等の設定を行い、牧之原市が実践的な洪水ハザードマップを作成するために必要となる基礎情報を作成・整理を行った。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <p>マニュアルでは、土地利用の粗度係数等が幅を持った値で示されていることから、係数の違いが浸水する範囲や深さ、氾濫流の流速に与える影響について具体的な流域の状況を踏まえて感度分析（粗度係数を変えて氾濫解析を行い浸水状況の変化を図化整理）して数値を決定するなど、住民の避難行動を念頭にした提案を行った。</p> <p>また、牧之原市の防災担当職員に対し、浸水想定区域図を更新することの法的背景や、新旧の浸水想定区域図の相違箇所について、河川改修効果、計算条件の変化等の要因ごとに解説する等、浸水想定区域図の成果をわかりやすく説明した。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <p>中小河川における県内の検討事例が少ない中、マニュアルの解釈に幅がある条件のもと、粗度係数のほか降雨継続時間の考え方として、実績洪水における継続時間別の降雨と最大水位の関係を分析して設定する方法を提案する等、今後の県内の同種業務における条件設定の考え方の整理に貢献した。</p>

## 受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	地質・土質調査業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 29-S 0008-01 号] 新田川支川大坂沢通常砂防【防災・安全交付金】(重点) に伴う地質調査業務委託【13-01】
履 行 期 間	平成 29 年 5 月 19 日 ~ 平成 29 年 9 月 29 日
業 務 概 要	地質調査業務 N=1 式 機械ボーリング ΣL=39m (4 箇所) 標準貫入試験 N=39 回 簡易動的コーン貫入試験 N=10 箇所
受 注 者 名	<small>つちやさんぎょう</small> 土屋産業 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該業務委は、新田川支川大坂沢に計画されている砂防堰堤建設による市道公園縦断線の付替道路の設計のための地質調査である。本業務は設計業務との同時進行で行っており、必要なデータを速やかに提出する必要があった。またコア採取が困難な地質条件であることに加え、広い範囲で地質解析を行う必要があった。</li> </ul> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注者は初回の打合せ時から業務の目的と、調査地の地質的問題点を十分把握し、設計者が必要とする情報について、繰り返し電話・メール・協議等により相互確認を行い、効率的な業務の遂行に努めた。</li> <li>・当該地区の地質は、コア採取が難しい緩い砂礫が主体であったが、特殊ビットの使用と適切な送水管理により、乱れの少ないコアの採取に成功し、正確な地質断面図を作成すると共に、施工上問題となる礫の含有率や最大径を把握した。</li> <li>・資料収集と詳細な地表踏査を広範囲に実施することで、当該地区の災害履歴や崩壊等の発生機構を解明し、堰堤施工時の安全性を検証すると共に、付け替え道路全長の地質断面図を作成し、崩壊・落石対策等の提案を行った。</li> </ul> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査地は県立自然公園内であるため、判りやすい PR 看板を設置し、公園利用者や周辺住民への広報に努め、円滑な事業の推進に貢献した。またボーリング作業時には熱中症対策(WBGT 指数計を設置)、上空の高圧線への注意喚起の表示を行い、作業員と周辺への安全確保に努めた。</li> <li>・本業務は設計業務と同時に展開していたが、受注者は報告書提出に先立ち、設計者が必要とする内容をわかりやすく客観的に整理した資料にまとめ、適切な時期に提出することで、事業の進捗に貢献した。</li> </ul> <p>以上のように、現地の状況を的確に把握すると共に、工程管理を徹底し、砂防堰堤構造協議等の検討に遅延なく、質の高い優れた設計業務委託の執行に寄与するものであった。</p>

## 受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度〔第28-K2030-01号〕二級河川太田川広域河川改修事業（防災・安全交付金）に伴う設計業務委託（和口橋詳細設計）【13-01】
履 行 期 間	平成28年8月5日～平成29年7月31日
業 務 概 要	橋梁詳細設計 1式 上部工 9径間連続非合成鋼桁橋 L=437m（歩道橋）W=3m 下部工 A1, A2橋台 逆T式 P1～P8橋脚 小判型壁式 基礎工 鋼管杭基礎φ600（中掘工法） 河道計画検討 1式 旧橋撤去設計 1式
受 注 者 名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <p>対象橋梁である磐田市道新出和口線和口橋は太田川3.0k付近に架設されている橋長120m、幅員3.6m、16径間の道路橋であり、太田川の流水を著しく阻害している状況である。このため、太田川河川改修事業（河道掘削工事）に伴い、橋長437m、幅員3m、9径間の自転車歩行者道橋への架け替えを実施すべく橋梁詳細設計を行った。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <p>受注者は、太田川と原野谷川の合流地点直下でかつ、川幅400m以上の河道内へ橋脚を複数設置する計画について、社内橋梁チームと河川チームが協力し、過年度に実施した「流向解析に基づき配置された橋脚位置」と、「平成13年度に策定された河道計画」との整合を図り、新橋橋脚位置に近接していた低水路護岸の法肩及び橋脚の条件護岸となる低水護岸配置を河川管理施設等構造令に則り適切に決定した。</p> <p>また、最も経済的となる桁高、部材厚の組み合わせ選定においては、「当該橋梁が歩道橋であり、歩行者の通行によるたわみ振動が2Hz程度となると、歩行者は不安感、不快を感じる」を考慮したうえで、桁高、部材厚を組み合わせながら、固有振動解析を行い、最も経済的でかつ、歩行者へ不安を与えない固有振動数（1.5～2.3Hzの範囲外）とした。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服又は事業遂行への貢献】</b></p> <p>川幅400m以上の河道内工事に対して、出水期、非出水期の流量や水位及び影響を正確に把握し、適切な工期や架設方法を細部まで検討した施工計画を提案し、発注者が求める施工計画に対して質の高い成果品を完成させた。</p>

# 受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度[第 29-K3073-01 号]二級河川弁財天川 河川改良に伴う設計業務委託（堤防耐震性能再調査）【13-01】
履 行 期 間	平成 29 年 8 月 31 日 ～ 平成 30 年 3 月 19 日
業 務 概 要	二級河川弁財天川 耐震性能再照査 既往耐震性能照査結果の精査 一次点検 二次点検 点検結果のとりまとめ
受 注 者 名	株式会社 <small>とうきょうけんせつ</small> 東京建設コンサルタント 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b> 二級河川弁財天川の河口から上流 1.8 km 区間は、平成 24 年度に河川堤防の耐震性能照査を実施したが、左右岸ともに耐震性能を満足しない区間が選定されている。この後、評価方法の確立により平成 28 年に基準が改定され、地震外力等の見直しもあったため、改定後の基準により再度、耐震性能照査を実施した。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査結果一覧表は、地質調査結果等重要な情報を追加しつつ、分かりやすい資料とするため、照査の過程や結果は対比ができるように整理し、違いが明確となり分かりやすい資料となった。</li> <li>・耐震照査における照査外水位は、一般的に過年度の検討条件と整合を図るが、今回は耐震照査精度向上のため、新たに実施されたより現実的な河川の津波遡上解析データを当該設計に反映させ、質の高い優れた成果品を完成させた。また、自主的に対象区間から上流部についても照査を行った。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新基準に準拠した土質条件の再設定にあたり、現地を再度踏査し、検討断面の土質条件の見直しを行い、耐震性能照査の必要区間の見直しを図った。</li> <li>・今回の対象区間から上流部の水門の耐震化及び、上流区間の堤防の耐震照査の必要性について提案し、本事業の推進に大きな貢献を果たした。</li> </ul>

受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度 [28-V1576-01 号] 福田漁港 漁港施設機能強化 (4 種外郭) に伴う導流堤耐震・耐津波設計業務委託【13-01】
履 行 期 間	平成 28 年 10 月 14 日 ～ 平成 29 年 5 月 31 日
業 務 概 要	導流堤基本設計 1 式 比較構造形式の抽出 7 ケース 永続状態および変動状態の安定性 7 ケース 構造形式の選定 7 ケース
受 注 者 名	<small>ちゅうおう</small> 中央コンサルタンツ 株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b> 本業務は、静岡県が管理する福田漁港の導流堤について、地震・津波に対する診断及び対策工の検討を実施するものである。 レベル 1 地震動、東海地震 (D1、D2、S1、S2、2 連動、3 連動)、大正関東型 (内閣府モデル、静岡県モデル) を比較して決定した設計水平震度を用いて、現況断面の照査 (滑動、転倒、端趾圧、地盤支持力、偏心傾斜荷重) を行い、対策工法の構造形式を抽出した。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b> 受注者は、既設導流堤の耐震対策という本業務の特性から、当該施設及び周辺地盤の特性を自主的に把握した上でモデル化し解析及び基本設計を行った。特に、本導流堤の先にはサンドバイパスシステムが整備されている福田漁港の特性を踏まえ、対策工施工時における既存施設運用への影響を考慮した検討を実施し、質の高い優れた成果品を完成させた。 また、業務打合せ時には図表を効果的に用い、比較検討や課題などを容易に把握できるよう資料が工夫されていた。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b> 想定する地震動の影響が大きく対策工事費の縮減が困難となったことを踏まえ、今後の事業の進め方を検討するため、現況断面において F L I P 解析による被害予測を自主的に行ったことで、今後の事業の優先度を検討する重要な資料となった。</p>

## 受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 29-D8322-01 号] (国) 301 号 道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託 (西浜名橋予備設計) (13-01)
履 行 期 間	平成 29 年 8 月 5 日 ~ 平成 30 年 3 月 15 日
業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>西浜名橋 橋脚補強予備設計 1 式</li> <li>支承及び落橋防止システム予備設計 1 式</li> </ul>
受 注 者 名	<small>なかにほんけんせつ</small> 中日本建設コンサルタント 株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本橋は、第 2 次緊急輸送路である国道 301 号上にあり、道路橋示方書 (平成 24 年 3 月) で要求される耐震性能に関する検証・照査、照査結果に基づく対策工法の検討を行うことを目的とした。 (本橋：橋長 484m、13 径間のポストテンション方式単純 PCT 桁橋)</li> <li>仮設計画では、仮設に影響を与える浜名湖内の潮流を考慮。</li> <li>近隣のカキ、のり、シラスウナギの漁業環境への影響を考慮。</li> <li>仮設の製作期間、転用回数、漁期 (施工休止期間) を踏まえ、平成 34 年度未完了を目途とした工程案を作成。</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣に漁場があるため、地元漁協の理解が不可欠であった。受注者は、地元漁協及び発注者からの多岐にわたる要望 (施工期間制限、水質汚濁防止対策、船舶航行を考慮した施工箇所調整、試験施工等) を踏まえたうえで、迅速かつ的確に設計案を作成・提示し、理解を得ることに尽力し、質の高い優れた成果品を完成させた。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潮の満ち引きによる潮流の変化や、近隣の漁場への影響を最小限とするために漁業者から要請のあった施工期間の制限や汚濁防止対策を考慮し、平成 31~34 年度末を目途として工事が完了するよう仮設工法、橋脚巻立工法について、本橋に最適な工法案・工程計画案を多数提案 (治水上の影響が小さい PCM 吹付け工法に決定) した。また、漁協との協議や河川協議では、必要事項を分かり易く迅速にまとめ提案を行い、本事業の推進に大きな貢献を果たした。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	調査・設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 28-K5401-01 号] 浜松篠原海岸 海岸養浜事業に係る環境影響調査業務委託（モニタリング調査その 2）（13-07）
履 行 期 間	平成 29 年 6 月 17 日 ～ 平成 30 年 3 月 16 日
業 務 概 要	<p>現地調査（動植物）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸周辺の池の水位、水深、水質</li> <li>・浜松市沿岸域周辺に生息する動植物やアカウミガメ等貴重種の調査結果の取りまとめと環境保全対策の効果検証</li> </ul>
受 注 者 名	株式会社 <small>ちょうだい</small> 長大 静岡事務所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <p>浜松市沿岸域における海岸環境に配慮した海岸事業の推進にあたり、海岸周辺の動植物に関するモニタリング調査と海岸で産卵するアカウミガメの繁殖状況調査を行い、現状の分析及び環境保全対策の効果検証等を行った。</p> <p>これまで実施してきた環境保全対策およびモニタリング調査の履歴から、専門家の指摘事項や調査のポイントを把握したうえでの確に調査と効果検証を実施する必要があった。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の目的を十分理解し、的確な有資格者を配置し、過年度の結果整理、現場状況の把握を積極的に行った。</li> <li>・多岐にわたる調査項目に対応すべく、各専門知識を有する技術者を集めて充実した調査体制を構築し、調査の取りまとめおよび効果検証において質の高い優れた成果物を完成させた。</li> <li>・また、「地域の未来を担う人材育成」（浜松土木事務所と浜松南高校が覚書を締結）の一環として、本業務内で実施した環境調査に高校生が参加し、学習と職業教育が一体となった体験の機会を提供した。</li> <li>・さらに、新たな貴重種を発見するなど、優れた鑑識力を発揮した。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な調査速報の作成・提出により、専門家への意見聴取を迅速に行うことができた。これにより、環境保全対策を検討する有識者会議のスムーズな運営と的確な評価検証を行うことができた。</li> <li>・現地調査において、調査の際に外来の動植物を可能な限り駆除することに努め、自然環境の保全に協力した。</li> </ul>



## 受賞業務委託の概要

清水港管理局

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成28年度[28-W1750-01]清水港 社会資本整備総合交付金活力創出基盤効果促進事業に伴う日の出埠頭再開発に係る基礎調査・基本設計業務委託 (13-01)
履 行 期 間	平成29年9月8日 ~ 平成29年11月30日
業 務 概 要	防潮堤のデザイン設計 1式 デザイン専門家会議資料作成 1式
受 注 者 名	セントラルコンサルタント 株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は清水港江尻・日の出地区津波防護施設について、「清水都心ウォーターフロント地区開発基本方針」に基づき防潮堤のデザイン検討と構造形式の基本設計を行った。</li> <li>・業務の実施にあたっては、津波に対する適切な対応と清水港の持つ多様な機能、地域経済、まちの賑わい、更に防潮堤建設に伴う富士山の展望を含む地域景観との調和をどのように実現するかということが求められた。</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性、施工性、経済性を担保した防潮堤機能を確保しながら、港湾荷役や定期航路フェリー、大型客船の寄港など現状の港湾活動への影響を最小限となるような提案を行った。</li> <li>・更に、国際クルーズ拠点や市の海洋文化拠点など近隣の開発計画を入手し、本業務の計画が局部的なデザインとならないよう積極的に将来のまちづくりとも調和を図った。</li> <li>・検討段階で「清水都心WF地区都市デザイン専門家会議」等に5回諮り、委員の先生方からの助言や提案を受け、その都度、計画を練り直し、最終的には防潮堤機能や富士山の眺望、人流・車両動線を確保しつつ景観に配慮した質の高いデザイン設計を行った。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「清水都心WF地区都市デザイン専門家会議」等において、委員の先生方からより良い助言・提案を受けるために、適切な絵図を用いたわかり易い資料や立体模型（右写真）を作成し、活発な議論が行える工夫を行い、質の高いデザイン設計につながる努力を行った。</li> </ul>



## 受賞業務委託の概要

御前崎港管理事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度 [第 29-W6952-01 号] 御前崎港社会資本整備総合交付金【広域連携事業・愛知静岡（重要）】に伴う測量業務委託（マリンパーク飛砂対策モニタリング）（13-02）
履 行 期 間	平成 29 年 9 月 8 日 ～ 平成 30 年 3 月 2 日
業 務 概 要	測量業務 N = 1 式 無人航空機（UAV・通称：ドローン）による三次元測量 1 式
受 注 者 名	株式会社 <small>けんせつ</small> 建設コンサルタントセンター
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b> 御前崎マリンパークでは、東側の突堤基部付近において、飛砂の影響と推測される砂の堆積が発生しており、人工海浜（ビーチ）の形成が維持できないほか、園内道路が砂で歩行困難となるなど年間を通じて快適な海浜公園としての機能維持が課題となっている。</p> <p>本業務は、この問題を解決する恒久的な堆砂対策と維持管理方法の検討に資するため、マリンパーク周辺の飛砂対策モニタリング調査を行った。</p> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b> 飛砂対策モニタリング調査は、年間を通じて飛砂の堆砂状況を確認するものである。今回業務の優れているポイントは、マリンパークの完成から現在に至る経年的な地形の変化から飛砂の傾向を確認することを課題として、業務遂行に有用と考えられる建設当時の設計図書や、過去の工事実施資料などを幅広く既存資料の収集整理を行った。</p> <p>その結果、建設当時から今回実施した4回の調査結果を写真や図表等により経年的に対比させ、飛砂による砂の移動方向や移動量等の重要な点を理解しやすくとりまとめ、今後の恒久的な検討業務に必要な質の高い優れた成果品を完成させた。</p> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b> 御前崎特有の強風等の気象条件が厳しい中、UAV調査を行うため風速 10m/s 以下での飛行作業基準を設定した。飛行に際しては、御前崎気象観測所の気象データを入手し、さらに現地での風速計による計測データにより安全かつ確実に業務を遂行した。</p>

## 受賞業務委託の概要

富士農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度ため池等整備（河川応急）沼田新田地区 測量設計委託その 1
履 行 期 間	平成 30 年 1 月 26 日 ～ 平成 30 年 3 月 23 日
業 務 概 要	消波工測量設計 1 カ所 海岸深淺測量 L=120m （横断測量、音響測深） 予備設計 1 式 （対策工法の検討）
受 注 者 名	<small>さんよう</small> 三洋テクノマリン株式会社 <small>かぶしきがいしゃ</small> 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は、昭和放水路の先端に設置した鋼管囲い型消波工及び放水口周辺の現況を把握し、平成 29 年台風 21 号による<b>ブロックの沈下、及び放水口付近の堆砂への対策工法の検討</b>を行うものである。</li> <li>・深淺測量は、波浪の影響が厳しい冬季に加え、隣接して国土交通省の養浜工事が行われている中、短期間での作業実施が求められた。</li> </ul> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響測深において、一般的なシングルビームではなく<b>ナローマルチビーム測深機の採用を提案・実施</b>することにより、海底の地形を面的、かつ立体的に把握することが可能となり、<b>過去の波浪で飛散した消波ブロックの位置、個数の正確な調査を実施</b>した。</li> <li>・消波工付近の海中は視界が不十分であったが、丁寧な潜水目視により、杭工内の消波ブロックは海底地盤の洗掘により沈下したものの、消波工自体の変動はなく、想定した散乱防止機能を発揮していることが確認できた。</li> </ul> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチビーム採用による効率的な作業の実施、国土交通省との適切な工程調整、潜水夫の手配など綿密な作業計画、及び気象条件の緻密な予測等、<b>豊富な経験による技術力を発揮し、履行期限内に業務を完了</b>した。</li> <li>・過去の波浪で飛散した消波ブロックを再利用した消波工の嵩上げ及び沿岸漂砂の抑制工等、<b>コスト縮減を図る対策案を提案し、昭和放水路検討委員会委員長から高い評価を受ける等、事業遂行に大きく貢献</b>した。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

中部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 28 年度畑地帯総合整備（担い手育成）矢部 2 期地区調査委託その 1
履 行 期 間	平成 29 年 1 月 25 日 ～ 平成 29 年 5 月 12 日
業 務 概 要	畑地かんがい用水調査 1 式 電気探査測定・解析（探査深度 100m 測線長計 L=1.0km） 井戸試掘（掘削深 60m、掘削径 φ 300、ケーシング径 φ 150）
受 注 者 名	<small>こくどぼうさいぎじゅつ</small> 国土防災技術（株） 静岡支店
受 賞 理 由	<p><b>【業務の諸条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は、静岡市矢部地区において平坦化された樹園地 22ha で使用するかんがい用水を確保するための水量調査である。</li> <li>・調査地域の地質は、下位より第四紀更新世（洪積世）根古屋累層、その上部に不整合で久能山礫層が分布している。帯水層となる久能山礫層は、不整合面の起伏に伴って複雑に分布している。</li> <li>・造成工事により大規模に地形が改変されており、従前の地形、流域、湧水状況等の現地確認が困難な状況となっている。</li> </ul> <p><b>【他の模範となり優れているポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の井戸や湧水の水質調査の結果、2 箇所の湧水ポイントの内、東側高盛土部が想定する久能山礫層の地下水とは異なることを突き止めるとともに、その他資料、文献の詳細調査及び現況踏査による適切な判断に基づき、西側高盛土部を中心に電気探査を実施した。</li> <li>・電気探査の解析に基づく比抵抗断面図から、地下水賦存量が多いことが期待される基盤シルト層の深い谷形状や、その上部の厚い礫層を的確に読み取り、最適な試掘箇所を決定した。</li> <li>・電気探査の解析結果として、従前地形や基盤層の境界を明示するとともに、地下構造を着色等により視覚的に分かりやすく示した優れた成果物を取りまとめた。</li> </ul> <p><b>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標水量以上の揚水が可能な水源地点を、経験に基づく高い技術力と判断力で掘り当てることにより、当区域の畑地かんがい計画の早期実現に大きく貢献した。</li> </ul>

## 受賞業務委託の概要

西部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 29 年度土地改良施設耐震対策庄内水路橋地区 設計委託その 1
履 行 期 間	平成 29 年 8 月 3 日 ～ 平成 30 年 3 月 23 日
業 務 概 要	水路橋耐震補強実施設計 1 橋 施設の現状評価、水路構造の検討、耐震補強設計 施工計画書の作成
受 注 者 名	<small>えぬていーしー</small> N T C コンサルタンツ株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 43 年度に完成した、東名高速道路を横断する農業用水水路橋「庄内水路橋」において、脆弱となっている既存施設の地震被災時における<b>安全性能（耐震性能）を確保</b>するとともに、より<b>安定的に農業用水を通水</b>する施設に改修することを目的に実施設計を実施したものである。</li> <li>・施工計画の作成にあたっては、<b>高速道路走行車両の安全確保</b>が最重要事項。</li> </ul> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の現状評価においては、別途業務（調査ボーリング及び橋梁点検）の結果と、独自の現地踏査、資料収集で得られた情報を基に、<b>地盤の特性及び橋梁の健全度を的確に評価</b>したうえで、耐震解析モデルへの反映、解析を行った。</li> <li>・水路構造の検討においては、水路橋（現況開水路）から溢水した場合の<b>東名高速道路での第 3 者被害</b>を想定し、水路内での管路化を前提に、<b>有効性、経済性、施工性を総合的に比較検討</b>する中で、特に<b>柔構造による耐震と軽量性に着目</b>し、「高密度ポリエチレン管」を「<b>発砲ウレタン</b>」で<b>柔固定する工法を提案</b>する等、柔軟な発想と優れた技術力を発揮した。</li> </ul> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極力交通規制を伴わない仮設計画（吊り足場・高所作業車等）を選定する等、<b>高速道路内での作業が最小限</b>となるよう、<b>適切な施工計画を立案</b>するとともに、分かりやすい資料作成と説明により中日本高速道路（株）との速やかな協議・調整に貢献した。</li> </ul> <p>以上のように、現地の状況と求められた条件に対して適切に対応した質の高い成果品であった。</p>